

ひまわりの里（北竜町）
 約100万本のヒマワリが、20万平方メートルという広大な敷地に咲き誇る圧巻のスポット。8月上旬が見ごろで、この時期、ヒマワリ畑に通路を通してジャンボ迷路が作られる。
 ■北竜町役場商工ひまわり観光係
 TEL.0164-34-2111

雨竜沼湿原（雨竜町）
 東西約4キロメートル、南北約2キロメートルにわたって広がる高層湿原。湿原の中を走る一周約3.5キロメートルの木道や展望台から、エゾカンゾウやミスバショウ、ヒオウギアヤメなど200種類の花や植物を観察できる。

子どもの国（砂川市）
 公園内にある「ふしぎの森・世界の七不思議」には約4度斜めに傾いたピサの斜塔、内部にドームスライダーがあるピラミッドなど、世界の七不思議をイメージした遊具がある。道央自動車道、砂川サービスエリアを利用して入館することができる。
 ■砂川市北光401-1 TEL.0125-53-3319

美術自然史館（滝川市）
 500万年前に生息していたと言われているタキカワカイギュウをはじめ、ステラーカイギュウ、ヨルダニカイギュウなど、海牛に関する資料や実物大レプリカを展示している。タキカワカイギュウの化石は、滝川市内を流れる空知川河床から発見されたもの。また、滝川市にゆかりのある美術作家たちの作品を展示している美術館も併設。
 ■滝川市新町2-5-30 TEL.0125-23-0502

宮島沼（美唄市）
 島沼はマガンの休息地。4月中旬から下旬、仙台市の伊豆沼を越冬地にしていたマガンが、故郷のシベリアに北上する途中、宮島沼に姿を現す。その数は3万5000羽。マガンは警戒心が強いので、木立が少なく、敵をすぐに発見できる宮島沼の環境を好むと言われている。10月、マガンの群れは越冬地へ戻る際にもう一度、宮島沼を訪れる。

三笠鉄道村（三笠市）
 村内の「三笠鉄道記念館」では、石炭の運搬を目的とした日本で3番目の鉄道「幌内鉄道」の歴史や北海道の鉄道に関する資料、信号灯などの常備品を展示。記念館の外には、かつて活躍した自動車やSLが展示されている。敷地内に残る旧幌内駅構内では、かつて室蘭コークス工場で活躍したSL列車304号が実際に走っており、乗ることもできる。
 ■三笠市幌内町2丁目 TEL.01267-3-1123

石炭の歴史村（夕張市）
 博物館や科学館、「郷愁の丘ミュージアム」、遊園地などがある総合レジャー施設。炭坑の町として栄えた夕張の歴史や採掘から利用までを解説した石炭博物館では、館内の採炭作動館で採炭現場を再現。また本物の坑道を史跡として保存した史跡夕張鉱は世界でも類を見ない。ロボット大科学館や遊園地は子どもたちに大人気。
 ■夕張市高松7-1 TEL.0123-52-1544

